

RFMD ニュース

会社連絡先:

RF Micro Devices Inc.

Brian K. Cockman, Public Relations Specialist

7628 Thorndike Road

Greensboro, NC 27409-9421, USA

電話: +1 (336) 678-8945

bcockman@rfmd.com



rfmd.com

RFMD 社、トップ軍事企業から GaN パワーアンプを受注

窒化ガリウム (GaN) パワーアンプで初の受注

RFMD 社 GaN 製品戦略ポイント:

- 市場および顧客の多様化
- 化合物半導体とパワーアンプの専門性を強化
- 大電力半導体の市場が加わり対象市場は 10 億ドル規模の拡大

ノースカロライナ州グリーンズボロ、2007 年 1 月 29 日: 移動通信駆動用各種アプリケーション向けの高性能無線システム/ソリューションを設計、製造し業界をリードする RFMD 社(ナスダック:RFMD)は本日、同社の窒化ガリウム (GaN) 高電子移動度トランジスタ (HEMT) プロセス技術による新製品をトップレベルの軍事企業から初めて受注したと発表した。RFMD 社の GaN 技術はマイクロ波帯を極めて広範囲にカバーできるため、多バンド化、広帯域化が求められる用途に最適なソリューション。これは同社にとって GaN パワーアンプで初の受注となる。

今回発注を受けた RF3825 高出力集積回路 (パワーIC) 広帯域アンプは、200MHz~1.9GHz の広帯域で 15W の出力が得られるため、軍用ソフトウェア無線機の帯域幅が大幅に拡大する。

RFMD 社の社長兼 CEO の Bob Bruggeworth 氏によれば、「当社独自の GaN プロセス技術で初の受注を達成できたことは、顧客と市場の多様化という面で大きな前進となるものです。これら新市場のもたらす売上げ機会は約 10 億ドルにのぼり、売上げ、利幅、収益を大きく前進させる牽引力となります。当社が行ってきた GaN 開発の一部は米国政府の助成によるものですが、GaN が持つ他のデバイスよりも優れた技術的特性を生かせる軍事アプリケーションは非常に多く、今回の発表はその一例を示したものです。さらに GaN 技術は軍事以外の市場にも応用可能で、業務用移動無線や WiMAX、WCDMA の基地局などにも利用できます。当社は GaN 分野でリーダーの地位にあり、これが業界最先端の化合物半導体製造能力や設計技術の更なる強化につながります。」という。

RFMD 社の最高技術責任者、Bill Pratt 氏の追加説明によれば「GaN は独特な電気的特性を持っており、高出力や高性能が求められる用途に理想的です。GaN 技術は多くの市場で競合するシリコン LDMOS 技術よりもその効率と電力密度が大幅に高いことを特長とし、GaN デバイスは非常に広い周波数範囲をカバーした広帯域動作が可能です。そのため GaN は WCDMA、WiMAX、軍事ジャミング

等、多バンド動作が必要な分野でも単一のデバイスで対応でき、高い経済性が得られますが、LDMOS など競合する他のプロセス技術では複数のデバイスが必要になります。」という。

RFMD 社は独自の GaN 技術をベースにノースカロライナ州グリーンズボロの製造施設で量産を行っており、また化合物半導体の専門性やパワーアンプ技術の優位性を更に強化したいと考えている。また同社は AlGaAs HBT や GaAs pHEMT の分野で世界一のメーカーである。また InGaP HBT でも世界一で、最近、第二世代の InGaP HBT プロセスを導入した。RFMD 社は携帯電話用のパワーアンプでも世界をリードしている。RFMD 社が GaN 技術の商品化に着手したのは 2000 年で、2007 年 6 月までには最初の出荷が行われる見込みである。

RFMD 社では、高い直線性と広帯域を特長とする最大 200W の高出力パワーアンプ (HPA) など、今後の GaN 技術の進展について 2007 年中にも発表を行う考えである。

RFMD 社について RF Micro Devices, Inc. (NASDAQ RFMD)社は移動通信の主要アプリケーション向けに高性能な無線システム/ソリューションの設計、製造を行う会社で、この業界のグローバル・リーダー。RFMD 社のパワーアンプ、送信モジュール、携帯電話用トランシーバ、およびシステム・オン・チップ (SOC) ソリューションは現在および次世代の携帯端末、基地局、無線ローカルエリアネットワーク (WLAN)、無線パーソナルエリアネットワーク (WPAN)、全地球測位システム (GPS) などの最新機能をサポートし、全世界的なモビリティの向上と接続性の拡大に寄与するもの。最先端の半導体技術による幅広い製品ラインと無線システムの豊富な経験で定評のある RFMD 社は、現在および将来の市場要求を満たす最新無線機能のサプライヤーとして、世界中の主要な移動通信機器メーカーから選ばれている。

ノースカロライナ州グリーンズボロに本社を置く RFMD 社は ISO 9001 および ISO 14001 の認証取得済みのメーカーで、世界各地にエンジニアリング、設計、販売、サービスの拠点を持つ。RFMD 社は RFMD 銘柄で米ナスダックグローバルセレクト市場に上場しています。なお詳しい情報は RFMD 社のホームページ、www.rfmd.com に紹介されている。

このプレス・リリースには、1995 年米国私募証券訴訟改革法 (Private Securities Litigation Reform Act) がその免責条項として定める「将来的な予測」が含まれています。この「将来的な予測」には当社の計画、目的、説明、主張などについて、またはそれ以外についての記述が含まれていますが、これらの記述は歴史的な事実ではなく、通常は「可能」、「必要」、「予測」、「期待」、「予定」、「計画」、「推測」、「確信」、「推定」、「予想」、「可能性」、「継続」などの用語や類似の用語とともに使用されています。またこれらとは別の表現で「将来的な予測」が記述される場合もあります。この文書に含まれている「将来的な予測」の記述は現時点における経営陣の判断や期待を表していますが、実際の成果や出来事、業績などはこれら記述で表現されたり暗示されたりした内容とは実質的に異なる場合もあります。当社は米国連邦証券取引法により要求される場合を除き、これら「将来的な予測」の記述内容を改訂したり、あるいはその記述の改訂を公表したりする意図を持っていません。RF マイクロデバイス社の事業には多くのリスクや不確実性が内在しており、その内容には四半期毎の経営成果の変動、無線関連市場の発展や成長率、ウェハ製造施設、分子線エピタキシー施設、組み立て施設、試験、テープ、リール施設など各種製造施設の稼働に関するリスク、熟練技術者や開発リーダーを採用・確保する当社の能力、生産歩留りの変動、革新的技術によりコストを削減し正味利益率を改善する能力、新製品を市場に投入する能力、顧客の在庫センターを通して行う委託販売への依存性、製品需要に即応したタイムリーな生産能力の調整を行う能力、限られた顧客への依存性、サードパーティへの依存性などが含まれています。上記以外にも含むこれらリスクや不確実性について

ては米国証券取引委員会の様式 10-K に従った RF マイクロデバイセス社の最新アニュアルレポートの中で説明されていますが、このような不確定性のため、これら記述の表現や暗示による内容と実際の成果や出来事、業績とは実質的に異なる場合があります。

RF MICRO DEVICES[®] および RFMD[®] は RFMD, LLC の商標である。その他の商品名、商標、登録商標はそれぞれの所有者の財産である。

###